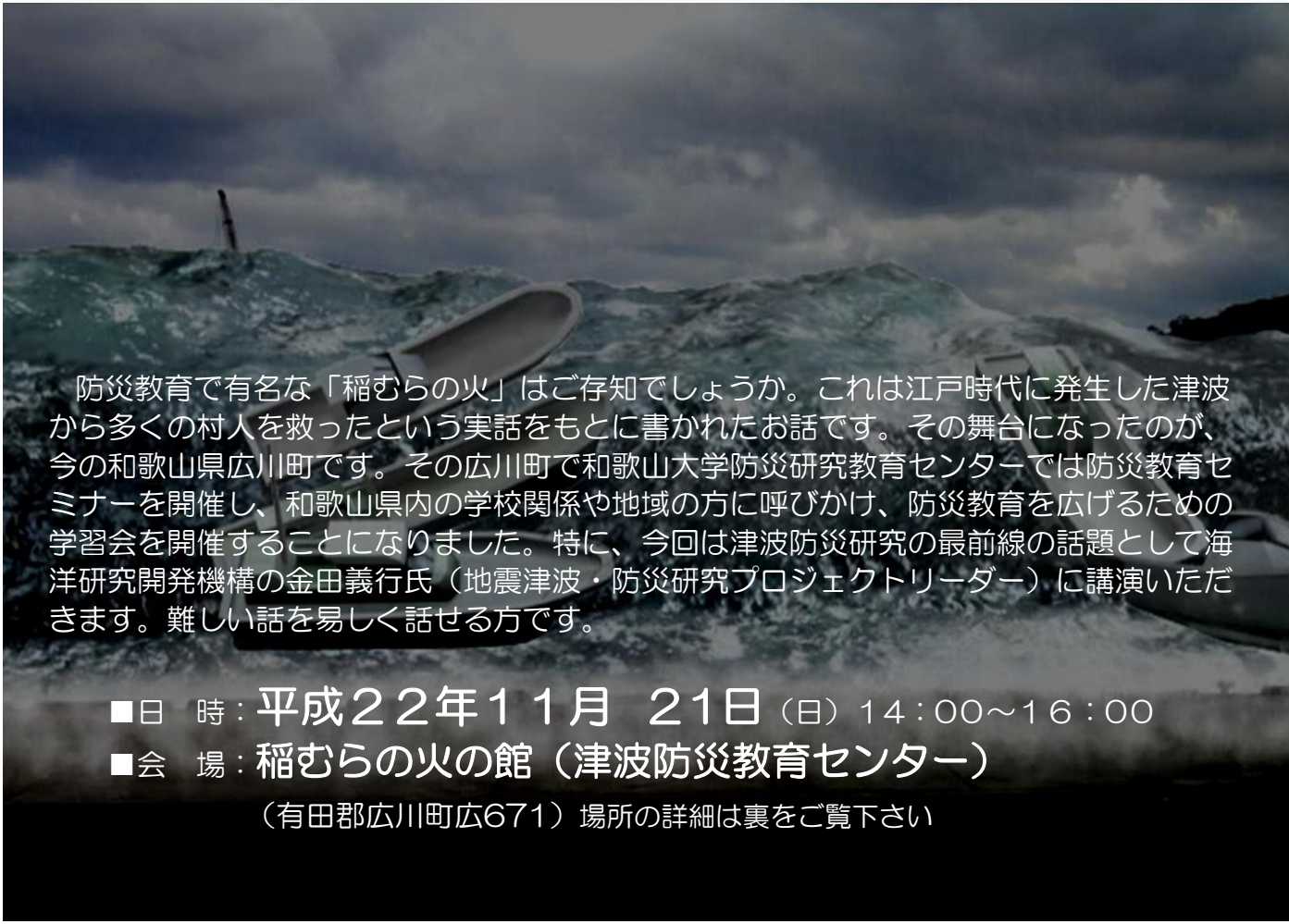


# 和歌山大学防災教育セミナーin広川町

～地域と学校の連携した防災教育を広げよう～



防災教育で有名な「稲むらの火」はご存知でしょうか。これは江戸時代に発生した津波から多くの村人を救ったという実話をもとに書かれたお話です。その舞台になったのが、今の和歌山県広川町です。その広川町で和歌山大学防災研究教育センターでは防災教育セミナーを開催し、和歌山県内の学校関係や地域の方に呼びかけ、防災教育を広げるための学習会を開催することになりました。特に、今回は津波防災研究の最前線の話として海洋研究開発機構の金田義行氏（地震津波・防災研究プロジェクトリーダー）に講演いただきます。難しい話を易しく話せる方です。

■日 時：平成22年11月 21日（日）14:00～16:00

■会 場：稲むらの火の館（津波防災教育センター）

（有田郡広川町広671）場所の詳細は裏をご覧ください

## ●内容

14:00 開会

14:05 和歌山大学での防災教育実践例『防災活動の決めて』

今西 武（和歌山大学防災研究教育センター客員教授）

14:35 講演会「津波の脅威とその対策に迫る」

～海溝型巨大地震による複合災害の軽減に向けて～

金田義行（海洋研究開発機構：地震津波・防災研究プロジェクトリーダー）

16:00 閉会

## ●入場料

講演会は無料ですが、津波防災教育センターの入館料は必要です。  
一般料金のみ団体割引で優遇していただきます。そのためセンターの展示や3D津波映像シアターなどは観覧可能です。ぜひこの機会にご観覧下さい。

500円（一般）から400円（団体割引相当）

センター内のイベント受付 13:30～にてお支払い下さい。  
高校生200円 小・中学生100円

## 問い合わせ先

和歌山大学防災研究教育センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930

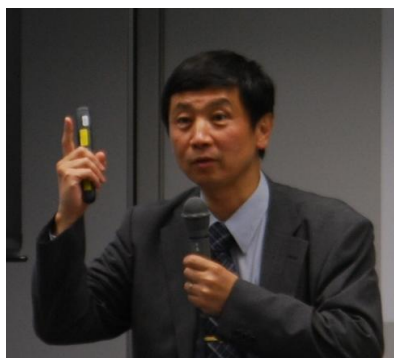
TEL:073-457-7558 FAX:073-457-7593

E-mail: bousai@center.wakayama-u.ac.jp

URL: <http://www.wakayama-u.ac.jp/bousai/>

主催：和歌山大学地域創造支援機構・和歌山大学防災研究教育センター

後援：和歌山県教育委員会・広川町教育委員会



金田義行 さん

## 金田義行(かねだ よしゆき)

海洋研究開発機構:地震津波・防災研究プロジェクトリーダー

1979年東京大学理学部研究科大学院地球物理専攻修士課程を修了後、石油公団 石油開発技術センターに入社。石油探査等の調査・データ処理技術開発に従事する。その後株式会社大林組技術研究所を経て現在の海洋研究開発機構に入所。現在は文部科学省からの委託研究「地震・津波観測監視システム」の構築に関するプロジェクトの指揮をとる。また南海トラフにて繰り返し発生する地震の短期予測を目指し、シミュレーション予測高精度化に関わるプロジェクトにも従事し、地震・津波における防災・減災活動にも積極的に取り組んでいる。

金田さんのマイゴール「2019年までに東海、東南海、南海地震を迎え撃つ海底観測網を構築したい」(夢の扉より)

## 稲むらの火の館 (津波防災教育センター)



### アクセス

電車の場合: JRきのくに線「湯浅」下車、徒歩約15分。

車の場合: 湯浅御坊道路「広川IC」から、北西へ約10分。

稲むらの火の館(津波防災教育センター)ホームページ

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/access.html>